

検査をお受けになる患者様へ Q&A

Q 1 なぜ検査前から絶食にするのですか？

- A. がん細胞が正常細胞に比べより多くのブドウ糖を摂り込み消費するという性質を利用した検査です。FDGはブドウ糖類似物質であり PETは糖のがん細胞への摂り込みを画像として表示する検査です。検査時にご飯が満腹な状態だとFDGが摂り込みにくくなり、正確な情報が得にくくなります。検査前の食事や甘い物はがん細胞を満腹な状態にしてしまうので検査6時間前より絶食にさせていただきます。

Q 2 なぜ検査日と当日に激しい運動・作業をしてはいけないのですか？また、激しい運動・作業とは どのような運動のことですか？

- A. 検査と前日や当日に激しい運動や作業、マッサージを行うと、筋肉は疲労回復のためにブドウ糖代謝が盛んになりFDGが筋肉へ集積されます。この状態で検査を行うと診断困難な画像になってしまいます。激しい運動とは、ジョギング、水泳、サイクリング、土木作業、大工仕事などです。日常生活での歩行や階段の上り下りなどは問題ありません。また、検査終了後の運動の制限はありません。

Q 3 FDGの注射後 なぜ、1時間安静にして待たなければならないのですか？

- A. FDGは静脈を介して徐々にがん細胞に集まり 1時間くらいで画像を得るのに十分な程度集まるとされています。正常な組織は集まる量も少なく時間とともに減少していきます。また、FDGの放射線の量も時間とともに減少しますので1時間後くらいが適切とされています。注射後は、歩き回ったり 読書（脳や目に集積するため）なども控えていただきます。

Q 4 検査直前まで水を飲んで大丈夫ですか？

- A. 大丈夫です。ただし、糖分成分が入っていないことを確認してからお飲みください。FDGは尿中に排泄されるお薬です。安静時にも飲水していただき 腎臓/膀胱に集積したFDGを尿に排泄することで明瞭な画像を得ることが出来ます。

Q 5 普段 服用しているお薬がありますが飲んで大丈夫でしょうか？

- A. 糖尿病以外のお薬は使用していただいて差し支えありません。詳しくは医師に相談してください。糖尿病の薬（インスリン注射・糖尿病内服薬）は使用の中止をしていただきます。6時間前より絶食となりますので糖尿病の薬をご使用中の方は医師と相談してください。

Q 6 検査後の検査当日、妊婦・乳幼児への接触は控えてくださいとのことですが、同居している妊婦・乳幼児がいるのですが大丈夫でしょうか？

- A. 検査終了後も僅かな放射線が出ていますが時間とともに少なくなり 体内のFDGの量は約2時間で半分6時間（半日）経過すれば10分の1以下になります。念のために小さいお子様や妊婦の方からは2mくらいは距離を置くようお願いいたします。放射線の量は距離が離れば離れるほど少なくなります。（距離の2乗に反比例します）

Q 7 検査時の服装は？

- A. 検査着に着替えていただきます。装飾品・コルセット・金属の付いている下着等は外していただきます。

Q 8 閉所恐怖症ですが大丈夫でしょうか？

- A. CT検査装置より少し長いくらいの筒状の装置になります。心配な方は 担当・関係スタッフにご相談してください。

Q 9 副作用はありますか？

- A. 薬剤の副作用は、極めて稀に軽微なアレルギー反応があるといわれていますが、重篤な副作用の報告はありません。

Q 10 検査当日の入浴はしても大丈夫ですか？

- A. 差し支えありません。

Q 11 女性の場合、生理中にPETを行っても大丈夫ですか？妊娠の可能性がありますが、PETを行っても大丈夫ですか？

- A. FDG-PET検査では放射線の被曝があります。妊娠初期に、気付かない状態で胎児が被曝することを避けるために、月経が終了してから10日以内に検査するのが望ましいと言われております。生理中は支障はありません。妊娠していないことが確認できてから検査しましょう。これとは別に、子宮内膜には月経中と排卵期に、卵巣には排卵期に機能的にFDGが集まることが知られています。子宮がんや卵巣がんを誤診するのを避けるために、問診票に現在の状態を正しく申告していただきたいと思っております。